

② 学 校 教 育

1 原小学校の教育

(1) 令和5年度 原小学校教育構想(グランドデザイン)

【めざす学校像】 あしたも来たくなる学校

原小の3心(学校教育目標)

【めざす原っ子像】

1. 自主の心
【かしこい子】

引き出そう! 学びに向かう力

- 学力の基礎・基本の定着「毎日の積み重ね」
- 子どもの意欲を高め学びを深める授業改善
～生活科・総合的な学習の時間を中核とした
ワクワクする探究的な学びの展開～
- ICT機器の利活用

2. 友愛の心
【やさしい子】

つながろう! 交流の輪

- 爽やかな“あいさつ”“歌声”“音色”
- 幼保小中連携・けやきペア・戸田小等交流
～ふくらむ思いやりの心・憧れる心～
- 青い目の人形～友情人形から平和教育へ～

3. けやきの心
【たくましい子】

みがこう! 心技体

- 耳すま清掃～心と校舎を磨く～
- ふるさと愛「原村学」
～原村のひと・こと・ものから学ぶ～
- マラソン・校庭スケート学習

【めざす教師像】

○子どもに寄り添い、ともに生きる教師

○ひとりと全体が見える懐の深い教師

○学ぶ楽しさを伝え、らも常に学び続ける教師

○人との繋がりを大切に連携・協働

【繋がる「原小の礎」～安心・安全な教育活動の土台～】

相互の情報共有で息の合った教育活動

- ・迅速な報告・連絡・相談体制
- ・子どもとともに歩むPTA活動
- ・学校評価の声を大切に
- ・お便り、メール配信、ホームページ等の情報発信

学校応援団(信州型コミュニティスクール)～地域の力～

- ・原村の子どもを、原村のひと・こと・ものが育てる協力体制
- 安全確保(警察・安協・PTA等)
- ・安全パトロール・集団下校・避難訓練・安全教室 等

(2) 教師指針

1 教科指導の充実

- ◎「授業は教師の命である」と考え、教材研究を十分に行いながら計画・準備・毎時間のねらいを明確にして、学ぶ楽しさや喜び、定着や発展等を仕組み、学力が高まる授業改善に努める。
- ◎「教師は児童の支援者である」ことを考え、一人一人のよさや発想・課題をとらえ、自ら課題を解決しようとする子どもを育成する。
- ◎子どもの実態を十分に把握し、学習の児童評価（振り返り）や教師評価を累積し、一人一人の個性の伸長を図る。

2 生徒指導の充実

- ◎すべての子どもに居場所があり、所属感をもつことができる学校づくり・学級づくりに努め、互いに支え合い育ち合う集団生活を創造する。
- ◎子どものよさをとらえ、称賛したり共感的な受け止めをしたりして、喜びと自信をもたせ、自尊感情が高い子どもの育成を図る。
- ◎一人一人の違いを認めたり、互いに尊重し合ったりして心をふれ合い、人権尊重の精神と感覚を培う。
- ◎教師自身のものの見方・考え方や生活態度等が、子どもたちとの信頼関係やその後の生き方に反映することを強く意識し、教師自ら深い教養と社会人としての自覚をもち、学び続ける態度を示す。

3 環境・安全教育の整備と充実

- ◎危機管理意識をもち、学校内外全域にわたって整備と美化に努め、安全で安心した学びができる学習環境を整える。
- ◎施設・設備などの機能性を考え、教育諸条件の整備と充実を図りながら、日常の教育活動に効果的に生かすよう活用する。
- ◎健康・安全に対する態度と実践力を育て、自己の健康管理ができる児童の育成を図る。地域の各機関やPTAの協力を得て、学校内外の環境整備に努める。

4 教師としての資質の向上

- ◎教育公務員としての自覚をもち、その義務を果たす。職員研修の有効活用をする。
 - (1) 法令遵守と、教職員としての専門性の向上（非違行為防止委員会設置）
 - (2) 守秘義務の遂行
 - (3) 危機管理意識の高揚と学校事故の防止
 - ①安全に学校生活が過ごせるよう日常点検を徹底する。
 - ②体罰禁止と、教職員による不祥事の根絶を図る。
 - ③子どもを愛し、保護者から信頼される教師を目指す。
 - ④先を見通し、予め準備しておける心や行動、物やことを整える。
- ◎校務について今までの積み上げや伝統を大事に受け継ぐと共に、子どもの今に合った工夫や教師の持ち味を加え、十分に協議しながら運営する。
- ◎「教師は人なり」の精神に立ち、教師自身の見方や考え方、生き方を振り返りながら、学習指導の研鑽に励み、確かな実践力と豊かな人間性を身につける。
- ◎報告・連絡・相談を密にし、共同責任者として自覚し、信頼と和の心で協力し合い職責を果たす。
- ◎教師一人一人が「豊かな心をもち、自ら学び自ら考え判断・行動し、よりよく課題解決する資質や能力を育てる」ための自己研修に努める。

5 家庭・地域との連携

- ◎保護者の願いや期待を真摯な態度で受け止め、誠意をもって説明したり応えたりする。
- ◎学年だよりや学校だより等によって学校の情報を知らせ、理解や協力を得られるようにする。
- ◎地域に支えられていることを自覚し、地域の人々との交流を大切にしながら、地域に開かれた学校をめざす。
- ◎原村の豊かな自然や地域素材を生かした学びを通して、ふるさと愛の高揚を図る。



学校経営を支えるめざす教師像

- ◎学ぶ楽しさを知り自ら学び続ける教師
- ◎繋がりを大切に（連携・協働）できる教師
- ◎個と全体を大切にする教師（誰一人取り残さない、すべての子どもに学びと居場所を保障）
- ◎子どもと共に生きる教師

(3) 教育計画

子どもにとっても職員にとっても、原小が「明日も来なくなる学校」であるために、伝統ある原小学校の“これまでとこれからを繋ぐ”ことを大切にする。特にコロナ禍に見舞われた3年間は“繋ぐ”ことが困難だったため、今年度は特に“人と人を繋ぐ”ことで子どものワクワク感、探究心をくすぐる活動を意識して取り入れる。原村教育の重点『原っ子は原村みんなで育てる宣言～かしこい「原っ子」・やさしい「原っ子」・たくましい「原っ子」の育成』にあるように、豊かな創造性および持続可能な社会のつくり手となる子どもの“生きる力を育む”ために、学校と地域の大人が子どもを真ん中に置き、今年度の重点を次の3つとして活動する。

(1) 引き出そう！学びに向かう力

「生活科・総合的な学習の時間で子ども・教師・地域が変わる授業づくり」

「授業交換・教科担任制」「子どもが学びに向かう姿を積極的に発信する」

(2) つながろう！交流の輪

「役割を果たし自信を持つ、友と関わり成長する」

「子どもが自分を好きになり、自信を持つ」

(3) みがこう！心技体

「自分の心と体と向き合う」

一 教科指導

1 全校研究テーマ

「子どもも教師も夢中になって、感じ・考え・表現する授業の創造～ワクワクする探究的な学びの展開～」

2 生活科・総合的な学習の時間研究テーマ

「原村のひと・もの・ことにふれ、気づき、伝え、原村をより好きになるわたしたち」

3 授業づくりの視点

「授業改善」へ向けて、導入や発問など多くの研究視点をもちこれまで研究を進めてきている。今年度は、これまでの研究を土台に、「生活科」「総合的な学習の時間」に焦点を当て研究を進める。

生活科は、子どもの生活に根づいたことをテーマに、子どもと先生が共にワクワクしながら学び、探究心をくすぐる学習であるところに面白さがある。総合的な学習の時間は、教科等の枠組みを超えて、じっくり課題に取り組む中で様々なひと・こと・ものに出会う。そこから何ができるか、どのように活用するか、どのように地域社会や世界と関わり人生を送るのか“人間力”を育むところに面白さがある。子どもも教師も身近な生活で出会うひと、大切にされてきているもの・こと、新しく創り出すもの・ことなどを試行錯誤(失敗を恐れない)しながら学ぶ時間をたのしんで欲しい。そしてこの学びが、子どもの自己有用感を高め、子どもと先生の宝物になることを願っている。この宝物の時間は、学級の雰囲気づくり(学級づくり)の核となり、子ども・先生・地域までも変えることができる信じている。

生活科・総合的な学習に限らず、他の教科でも可能な限り、多くの人の関わりを持つ活動を取り入れることができる。教師一人で頑張るよりも、周りの人をどしどし盛り込んで授業をして欲しい。多くの人(園児・中学生・高校生・大学生・ボランティアさん・その道のプロなど)と関わることで子どもの学びは深みを増し楽しくなる。子ども同士の交流活動(保小交流・小中交流・けやきペア交流・戸田小交流など)や、子どもと地域のひと・こと・ものとの繋がり(原村の地域へ出て学ぶ・地域の方が学校に来る学習など)を組み込むことが、学校生活を楽しくする大きな手立てになる。

子どもも先生もワクワク感を抱き、共に活気ある授業をつくる。先生は様々な手立てを講じ、子どもは瞳を輝かせそれに応える。子どもは「もっと知りたい、もっと追究したい、もっとできるようになりたい」と願い、「分かった、できた自分」に気づき喜びと楽しさを得て、更なる「追究のループ」に填まっていく。子どもはそれぞれ填まるループが違うが、この過程こそが子どもの自己有用感を高めることに繋がる。このような豊かな経験を積み、子ども達がふるさと原村をより好きになることを願う。

二 生徒指導

一人一人の児童が、健全に成長し、明るく希望にみちた生活が安心して送ることができるよう次の点を大切に指導する。

- 児童の実態を正確に把握し、一人一人に適したきめ細かい指導をする。
- 学校内外の生活のきまりを守り、きちんとした生活習慣が身につくように指導する。
- 学校内外の生活指導は、家庭との連携を丁寧に図り、指導する。
- P T A 校外委員会・中諏生徒指導連絡協議会・他機関と連携を図り、指導する。

三 特別活動

特別活動の目標は、「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、児童相互が協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる」ことにある。学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事などを通し、本校の教育目標が達成できるように努める。

四 課外活動

1 リコーダー合奏団

- (1) 目標…リコーダー演奏を通して、音楽を楽しむ心を育てるとともに、団員一人ひとりのもつている個性や能力をさらに伸長させ、その子たちを核として学校全体の児童のリコーダーに対する意識や技能を高める。
- (2) 構成…4・5・6年生の希望者 <年間を通して>
- (3) 練習…火・金の放課後、職員会議のない水曜日、コンクール前の始業前練習
- (4) 発表の機会…様々なコンクールや音楽会、地域の施設での発表会等

2 合唱団

- (1) 目標…合唱活動を通して、個々の持っている個性や能力をさらに伸長させるとともに、合唱団員が全体や授業の核となり、全校・クラスの歌声を高める。
- (2)～(4) は、リコーダー合奏団に準ずる。

3 スケート

- (1) 目標…児童の持つ個性・能力をさらに伸長させるとともに、学校全体のスケート学習の核となる。
- (2) 構成…1～6年生の希望者
- (3) 活動内容…陸上トレーニング及び各種大会への参加活動は、スケートクラブ保護者会を中心に行う。

五 さらに充実した教育を目指して

1 I C T・プログラミング・視聴覚教育

一人一台のタブレット端末を活用し、I C T機器に親しみながら学習活動を選択したり、自ら情報収集したりすることを通して、問題解決に向かう素地を養うとともに、プログラミング的思考を育てる学習を進める。

2 図書館教育

朝の読書や読み聞かせ、図書館の時間等を通して読書に親しむとともに、進んで調べ学習ができるようになる。また、読み聞かせボランティアの「カントリーマアム」さんの協力を得て、読書に親しむ。

3 健康教育

心身ともに健康な生活をするために、望ましい生活習慣を身につけさせるとともに、自分の健康を守るために自ら判断し行動できるようにする。

4 人権福祉教育

日常生活の中における差別や偏見に気づき、それを許さない態度や差別をなくす実践力を養うとともに、地域や家庭との連携を図り、生涯を通じて主体的に福祉にかかわろうとする態度を育てる。花作りを通して子どもたちの心を育てる。

5 特別支援教育

特別な配慮を必要とする児童が、健康で明るく落ち着いた学校生活を送ることができるように、一人一人の実態を把握し、発達段階や特性に応じてよりよい環境を整え、それぞれの児童の可能性を最大限伸ばせるようにする。特別支援教育のさらなる充実をめざし、特別支援学級を校内中心部に配置する。特別支援学級を校舎の中心部に配置していることは、教職員が常に教育の原点である「ひとりひとりの事実を捉え、子の良さや課題、ニーズに応じた指導を大切にし、個々を活かし伸ばす」事を大切にしたいという姿勢や意識の現れである。常に、特別支援学級の活動の様子や動きを観て・感じて・足を運ぶことで、在籍児童との関わりや理解を更に深める。

6 環境教育

緑化活動やゴミの分別・資源化、節電や節水等、身近な環境保全の取組について理解を深めるとともに、身近な環境を守る実践的態度を養う。

(1) みどりの少年団

- 全校…環境委員会を中心に花などの栽培活動推進
- 4年生…学校林での作業・活動
- 環境委員会を中心に「みどりの少年団交流活動」への参加

(2) 星空観察会

- 天文台を利用した星空観察会を、理科専科や外部講師の協力を得て開催

7 食育

感謝の気持ちをもって食事をすることができるようになるとともに、からだと食べ物の関係について理解を深め、望ましい食習慣を身につける。また、食事のマナーを守って楽しい食事ができるようになるとともに好ましい人間関係を育む。

ふるさと原村の食材の豊かさを知り、郷土愛を育む。

8 清掃整美教育

校内の生活環境を整えたり、校舎内外の美化活動を行ったりすることを通して、勤労と協力に関する実践的態度を養う。重点活動としての「耳すま清掃」を推進する。

9 安全防災教育

自他の生命を尊重し、日常生活を安全に保つために必要な事柄を理解し、進んできまりを守り、安全に行動できるようにする。さらに、災害に関わる事柄を理解し、避難訓練等を通して適切に行動できるようにする。

10 国際理解教育

外国語活動・英語科を通して、英語に親しむとともに、世界の国々の文化や歴史について関心を高める。また、英語活動ボランティアのEATTの協力を得て、活動の充実を図る。

11 学社連携・キャリア教育

外部講師や学校応援団（信州型コミュニティスクール）の組織を活用し、授業を通して自分の将来について夢や希望を持たせるとともに、日常生活と将来とのつながりについて理解を深める。

12 就学前教育

来入児が心身ともに健康で明るい学校生活を送ることができるよう、保護者、保育園、幼稚園、小学校が連携を深め、入学準備を進める。

13 その他

(1) 「ことばの教室」サテライト教室

毎週金曜日午前4時間、会議室を利用して「ことばの教室」サテライト教室を開設。

(2) 中間教室「たんぽぽ」

学びの場の選択肢の一つとして、中間教室を選ぶ子どもと学校とを繋ぐ。

(4) 原小学校のあゆみ

(1872年)

- 明治5年 (府県の学校をすべて文部省の管轄とする)
(筑摩県権令学校創立告諭書並びに学校入費金差出方取計振を村に配布し学校設立を呼びかける)
(国民皆学を期し、学制頒布される)
貫一学校（柏木）3月創立9月12日開校、通学区柏木・菖蒲沢、校舎柏木区共有家屋地蔵寺、長泉学校
(払沢) 通学区払沢、校舎長泉庵
明治6年 (大陰暦を廃して太陽暦を採用する 明治5年12月3日を明治6年1月1日とする)
単恵学校（中新田）通学区中新田、校舎村特共有家屋薬師堂
勸開学校（ハッ手）通学区ハッ手
情善学校（柳沢）通学区柳沢・大久保、校舎柳沢共有家屋
明治7年 (筑摩県権令永山盛輝が学事奨励のため、伊那・諏訪両郡330余の小学校を巡回正則教授を実施実演して
村民に開導説諭する)
· 単恵学校を中新田学校（4月校舎移転、深叢寺本堂へ） · 貫一学校を柏木学校
· 勸開学校をハッ手学校 · 長泉学校を払沢学校 · 情善学校を柳沢学校と改称する
明治8年 (大久保・柳沢・ハッ手・払沢・中新田・室内・菖蒲沢・柏木の八新田村を合併して、戸長制原村を成立
する)
(学齢を満6歳から14歳までとする)
明治9年 (日曜日は休暇、土曜日は正午より半休とする布告が出る)
(筑摩県（飛騨は除く）と長野県とを合併し長野県となる)
(柏木学校校舎増築旧寺へ建継ぐ)

(1877年)

- 明治10年 (上等小学・下等小学の課程を新設)
明治12年 払沢学校校舎類焼臥竜堂借用7月増築落成
明治14年 中新田学校 諏訪郡第35番小学公立中新田学校と改称する
柏木学校 諏訪郡第37番小学公立柏木学校と改称する
払沢学校
ハッ手学校
柳沢学校
(文部省、小学校教則、綱領を定め、従前の下等小学校4年・上等4年を改正し、初等科3年・中等科3年・
高等科2年とし初等科を義務教育とする 修身を重視し、歴史は日本史のみとする布達が出る)

(1882年)

- 明治15年 中新田学校学級編成を加える 初等科・中等科各3年各科の階級を6級に分け、毎級6ヶ月の修業とし、
在学期間通して6ヶ年とする 教科目は、初等科は修身・読書・習字・算術・体操 中等科は修身・読
書・習字・算術・体操・地理・歴史・図画・博物・物理・裁縫
明治16年 中新田学校、授業日数266日、在籍児童数平均116人、日々出席平均児童数37.2人
明治17年 郡長、各学校監視のため巡回する
明治18年 (学務委員を廃し、学務を戸長に移す)
明治19年 (わが国最初の小学校令が公布され、義務教育年限を4年とする)
中新田学校は、諏訪郡村立第9番学区原学校中新田支校となる
柏木学校は、諏訪郡村立第9番学区柏木分校となる
ハッ手学校は、廃校となる
払沢学校は、諏訪郡村立第9番学区原学校となる
柳沢学校は、諏訪郡村立第9番学区柳沢仮分教場となる

(1887年)

- 明治20年 (小学校規則制定される 小学校を尋常、高等の2種とする)
(小学校の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる これを1学年の修業期限と定められる)
原尋常小学校と改称、8月新築校舎（ハッ手）に移転し、彫刻「友愛」ができる
中新田・柏木は分校とし、柳沢・払沢仮校舎を閉鎖する
諏訪高等小学校原分教場設置
明治25年 原尋常高等小学校設置、中新田・柏木に分教場をおく原・泉野高等小学校設置
明治26年 中新田分教場校舎建築（中新田区裏ノ尾根）
明治31年 原尋常高等小学校となる
明治35年 通学区 本校 大久保・柳沢・ハッ手・払沢・室内の一部
// 柏木分教場 柏木・菖蒲沢・室内の一部
// 中新田分教場 中新田
明治44年 柏木分教場移転新築落成
(1912年)
大正元年 本校舎増築落成、中新田分教場増築
大正6年 本校舎火災

大正9年 (1920年)	本校舎移転新築(払沢区)
昭和5年	本校舎1棟増築
昭和11年	雨天体操場1棟増築
昭和16年	原国民学校発足、三仮教場廃止
昭和22年	六三制による原小学校発足 原小学校PTAできる
昭和26年	八ヶ岳分校開校、28年閉校される
昭和29年	北校舎解体、新校舎落成
昭和30年	給食調理室改築落成
昭和33年	校庭スケート場竣工
昭和34年	伊勢湾台風により体育館全壊、中校舎大破
昭和35年	特殊学級認可開設(4月1日) 中校舎補修、体育館再建落成(9月27日)
昭和39年	学校プール竣工、給食室設備充実
昭和42年	鉄筋コンクリート三階校舎新築落成(27教室) ブロンズ像「雄飛」建立
昭和44年	校歌制定(4月26日)
昭和47年	原学校開校百周年記念式典
昭和48年	小中分離し、原小学校PTAとなる
昭和53年	管理棟改築落成、天文台完成
昭和54年	管理棟前舗装、粘土釜取付小屋設置
昭和56年	教室・特別教室にテレビ・ビデオ設置 第29回子ども音楽コンクール東日本大会理科研究優良校として、ソニー理科教育振興金30万円が授与される
昭和57年	放送室調整卓設置等によりテレビ放送施設完成開局 音楽コンクール東日本大会リコーダー重奏で最優秀賞、全国大会にテープ出場
昭和58年	東日本大会に合奏重奏両部門出場、重奏で優秀賞を受ける みどりの少年団結成
昭和59年	第1回青い目の人形の集いが行われる 舍外物置小屋2箇所、舍内書類収納庫1箇所完成
昭和60年	原村社会体育館が完成、体育学習に使用できる 子ども音楽コンクールにてリコーダー合奏優秀賞 「子ども音楽祭」に出場、テレビ放映される
昭和61年	FBC花壇コンクール中央審査の結果優良校 子ども音楽コンクール東日本大会にてリコーダー合奏最優秀校全国大会に出場 長野県学校給食優良校賞授賞
昭和62年	岩村田宮林署より、サラサドウダンの苗木100本購入、学校造園整備計画の一環として校長室、職員室前の花壇に植栽 南便所屋根の改修工事、職員住宅駐車場完成
	富士見町境 画家小松乙彦氏(帝国美術学校、現武蔵野美大卒)より、日本アンデパンダン展出品作の油絵100号の大作「子供たち」の寄贈
	リコーダー合奏団、東日本大会出場
昭和63年	教室棟屋根全面塗装、給食室床全面塗装 土俵工事完成、横綱大乃国来校(農協祭行事にあわせて)土俵開きを行う NHK合唱コンクール出場、銀賞受賞 教育課程研究協議会「特別活動」発表
	県民コンサート(原村会場) 合唱団、リコーダー、母親コーラス出場 SBC子ども音楽コンクール リコーダー合奏優良賞 重奏優秀賞受賞
	第39回全国学校給食研究協議大会で「学校給食」文部大臣表彰受章 第38回全国学校保健研究大会で保健及び学校安全に関する文部大臣表彰授章
	教員住宅(6世帯分)完成、12月より入居 諏訪ジュニアスケート大会 男子リレー優勝 軽井沢スケート大会 男子リレー優勝
(1989年)	
平成元年	普通教室棟の水洗便所新築 職員便所水洗化工事 プール配水管工事 納食室床塗装補修工事 FBC花壇コンクール中央審査で優良賞を受賞 長野県幼稚園教育課程研究集会開催 軽井沢スケート大会女子総合優勝
平成2年	南便所・渡り廊下新築。教室棟壁面塗装 体育館東壁面塗装 小動物飼育小屋設置 玄関屋根庇補修工事プールブロック補修工事 コンピューター3台設置 SBC音楽コンクール(合唱団優良賞 リコーダー優秀賞受賞) 軽井沢スケート大会 女子2年連続総合優勝
	原村文化・スポーツ奨励賞 スケートクラブ女子チーム受賞 管理棟屋上防水工事 管理棟壁面防水塗装 教室棟ベランダ工事 校庭石垣積み替え工事 プールコンクリート塀改修 音楽室照明増設 燃却炉改築 SBCこども音楽コンクール(合唱の部優良賞 リコーダー合奏の部優秀賞) SBCこども音楽祭(リコーダー合奏団招待出場 TV放映) ひまわりコンクール「花壇の部」1年生優秀賞

平成4年	管理棟廊下壁面クロス張替え 各教室に掲示板設置、流しの取り替え、照明器具増設 校庭石積み工事及びプールフェンスの改修 4年生宿泊学習を茅野市「自然の森」で行う 信濃美術館特別移動展全校で見学 学校週5日制9/12より実施
平成5年	給食棟屋根塗装工事 教室棟ベランダで改修工事 職員更衣室張替工事 SBC音楽コンクールリコーダー優良賞 冬期は12月中旬より2月までスケート滑走可
平成6年	中庭に「丸太とりで」設置 小学校教育課程研究協議会「社会科」発表校 プール浄化槽新設工事 教室棟3F廊下・階段ルーム塗装工事 家庭科室・学童クラブ照明灯増設工事他 SBC子ども音楽コンクールリコーダー合奏優秀賞
平成7年	児童昇降口スチールドア取り替え 教室棟・管理棟屋根塗装、床ロングリューム・家庭科室カーペット・教室 掲示板クロス張り替え 理科準備室プレハブ増設 児童下足棚作り替え 各種スケート大会(1位18)等で活躍 日韓ジュニアスピードスケート大会に2名参加
平成8年	教室棟窓サッシ総入れ替え・ボイラー取り替え・児童玄関屋根塗装・グランドフェンスおよび灯油タンク防 油堤新築・体育館ステージレールと幕取り替え、掲示板と照明器具増設・給食室O-157対策工事多種 南信地区学校図書館教育研究指定校発表 県ジュニアスピードスケート競技会 スーパースプリント選手権等 1位 3位 入賞他
平成9年	教室黒板塗り替え 機械室石綿固化工事 給食室手洗器取り替え工事 遊具(シーソー)と教材掲示装置の購入 東日本大会リコーダー合奏団優秀賞 県ジュニアスピードスケート大会入賞 諏訪地方スケート大会入賞
平成10年	南信クラブ対抗スケート大会女子総合3位 南信親善スケート大会入賞 松原湖スケート大会入賞 新体育館を建設し、竣工式を3月10日に行う 旧体育館は8月にとりこわし38年の歴史を閉じる 管理棟北壁塗装 校長室クロス張り替え 階段ロングリューム張替修理 中庭の遊具の配置がえ NHKコンクール銀賞 リコーダー合奏団東日本大会最優秀賞 南信クラブ対抗スケート大会女子総合優勝 県ジュニアスピードスケート大会入賞 諏訪地方スケート大会入賞 南信親善スケート大会入賞 松原湖スケート大会入賞
平成11年	校庭階段補修工事と校内通路整備工事を行う NHKコンクール銀賞 リコーダー合奏団東日本大会最優秀賞 6年生SBCコンクール優良賞 南信クラブ対抗スケート大会女子総合優勝、大会新 県ジュニアスピードスケート大会、県小学校記録 諏訪地方スケート大会、大会新 南信親善スケート大会入賞 松原湖スケート大会総合3位、県小学校記録
平成12年	コンピューター教室が完成 校舎内階段及び校庭への階段に手すり設置 合唱団NHKコンクール南信大会銀賞 合唱団中南信大会優良賞 6年生SBC子ども音楽コンクール南 信大会優秀賞 リコーダー合奏団東日本大会優秀賞 全国合奏コンクール優秀賞 県ジュニアスピードスケート東北信大会・諏訪地方スケート大会入賞多数 松原湖スケート大会総合2位 南信クラブ対抗スケート大会女子総合優勝 日韓親善スケート大会2名出場
平成13年	前年度完成したコンピューター室にエアコンを設置 リコーダー合奏団東日本大会で最優秀賞 全国小学生陸上協議大会男子走幅跳6位入賞 松原湖スケート大会総合2位 南信クラブ対抗スケート大会女子総合1位 県ジュニアスピードスケート大会入賞 諏訪地方スケート大会多数入賞 南諏親善スケート大会入賞
平成14年	管理棟外壁の全面塗装改修 職員玄関児童玄関カラー塗装 教室内の床改修、教室棟の階段への掲示板の設置 リコーダー合奏団子ども音楽コンクール東日本最優秀賞 全国合奏コンクール県大会最優秀賞 合唱団NHKコンクール銀賞 SBCコンクール優秀賞 松原湖スケート大会総合2位 南信クラブ対抗スケート大会女子1位・男子3位 県ジュニアスピード大会・諏訪地区スケート大会入賞多数 南信親善スケート大会入賞 中諏教育研究会にて「健康教育」の授業を全クラス公開 小学校教育課程研究協議会「国語科」発表 長野県学校安全教育優良校受賞
平成15年	園児用プール、低学年用プール、高学年用プール、最新鋭の消毒システム、ソーラー設備を備えたプールが完 成・12月18日竣工式 原村インターネット設備が改修され、戸田小とのテレビ電話による会議が可能にな る 総合学習室の絨毯の張り替え リコーダー合奏団SBC子ども音楽コンクール優秀賞 全国合奏コンクール県大会最優秀賞 TBS子ども音楽コンクール東日本大会優良賞 諏訪地区重唱大会銀賞 県ジュニアスピードスケート大会東北信大会 諏訪地方スケート大会 南信クラブ対抗スケート大会 松原湖スケート大会 県ジュニア茅野スケート大会 茅野スケート大会 茅野スーパースプリント選手権大会 南諏親善スケート大会等で多数入賞 算数、理科、総合的な学習の時間、情報教育で研究授業と授業研究会

平成16年	各階の配電盤改修　掲示板の増設や張り替え。天体望遠鏡修理 リコーダー合奏団SBC子ども音楽コンクール重奏の部・合奏の部とも優秀賞 全国合奏コンクール県大会重奏の部優良賞・合奏の部優秀賞・東日本優秀演奏発表会合奏の部優秀賞 合唱SBC子ども音楽コンクール優良賞　NHK合唱コンクール銀賞 県ジュニアスピードスケート大会東北信大会・諏訪地方スケート大会・南信クラブ対抗スケート大会・県ジュニアスピードスケート中南信大会・茅野ジュニアスケート大会・茅野スーパースプリント選手権大会・南諏親善スケート大会入賞多数 理科、健康教育、体育で、研究授業と授業研究会
平成17年	2階トイレの改修完了　ノートパソコン、カラーレーザー、プロジェクター、デジタルビデオカメラ、PCサーバーなど、情報機器が一層充実した リコーダー合奏団SBC子ども音楽コンクール重奏の部優秀賞　合奏の部がかんてんぱぱ賞 東日本優秀演奏発表会合奏の部最優秀賞　6年SBC子どもコンクール優良賞 合唱団NHK合唱コンクール金賞　県大会銅賞 県ジュニアスピードスケート大会東北信大会・諏訪地方スケート大会・南信クラブ対抗スケート大会・県ジュニアスピードスケート中南信大会・茅野ジュニアスケート大会・南諏親善スケート大会入賞多数・やまびこカップ 社会、家庭科、体育で研究授業と授業研究会　学校における生涯学習のすすめ方研究会で全学級公開 教室棟耐震工事　教室棟大規模改修が完了
平成18年	リコーダー合奏:SBC子ども音楽コンクール重奏の部で優良賞　合奏の部で優良賞　全国合奏コンクール県大会重奏の部で優秀賞　合奏の部で優秀賞　合唱団:NHK合唱コンクール地区大会で金賞 諏訪地区重唱大会で銅賞　6学年SBC子ども音楽コンクールで優良賞 県ジュニアスピードスケート大会中南信大会・東北信大会・諏訪地方スケート大会・南信クラブ対抗スケート・茅野ジュニアスケート・南諏親善スケート大会等で入賞多数 小学校教育課程研究協議会で「家庭科」研究発表、授業公開
平成19年	新南校舎完成（音楽室、図工室等）　児童会収集活動でためた資金で、原村出身書家、津金孝邦先生書によるけやきの木の校名札を制作 6学年:SBC子ども音楽コンクール優良賞　合唱団:SBC子ども音楽コンクール優良賞 NHK音楽コンクール地区大会金賞　県大会銅賞　諏訪地区重唱大会金賞 リコーダー合奏団:SBC子ども音楽コンクール優秀賞　かんてんぱぱ賞　東日本優秀演奏発表会優秀賞 全国学校合奏コンクール県大会最優秀賞　全国学校合奏コンクール関東甲信越大会奨励賞 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏部門銀賞　県ジュニア中南信スケート大会等で入賞多数 J-KIDS大賞200県優秀校受賞
平成20年	職員室棟耐震化工事　旧スタジオをスタジオと会議室に改修　職員室棟の床張り替え 職員室棟トイレ改修　職員更衣室改修　管理棟FFストーブ設置　放送室放送卓 児童机A判対応の規格に3年計画1年目 6学年:SBC子ども音楽コンクール学級学年部門優良賞 リコーダー合奏団:SBC子ども音楽コンクール合奏第1部門優良賞　重奏部門かんてんぱぱ賞 全国学校合奏コンクール長野県大会合奏優良賞　重奏最優秀賞 全国学校合奏コンクール関東甲信越大会重奏優良賞 合唱団:NHK全国音楽コンクール南信Aブロック金賞　諏訪地区重唱大会銀賞　県ジュニア中南信スケート大会等で入賞多数　蓼科文庫新春書道展優秀学校賞　ベルマーク50万点収集表彰
平成21年	けやきルーム暗幕設置　給食室地下ビット修繕　昇降口前防護手すり修繕 児童机A版対応の規格に3年計画2年目 合唱団:SBC子ども音楽コンクール優秀賞　NHK全国音楽コンクール南信Aブロック銀賞 諏訪地区重唱大会銅賞 リコーダー合奏団:SBC子ども音楽コンクール優秀賞　全国学校合奏コンクール合奏の部優秀賞　重奏の部最優秀賞 全国学校合奏コンクール関東甲信越大会重奏の部特別賞 県ジュニア中南信スケート大会等で入賞多数
平成22年	中庭遊具修繕　けやきルーム掲示物取付用木枠設置　事務室受付カウンター改修 グラウンド階段上U字溝改修　学童クラブ新築に伴い鳥小屋移設設置　児童机A版対応の規格変更完了 郡小学校教育課程研究協議会「社会科」会場 合唱団:SBC子ども音楽コンクール優秀賞　NHK全国音楽コンクール南信Aブロック金賞　同長野県大会銀賞　諏訪地区重唱大会銅賞 リコーダー合奏団:SBC子ども音楽コンクール最優秀賞　全国学校合奏コンクール合奏の部優良賞　重奏の部佳良賞　東日本優秀演奏会Bブロック優秀賞 スケート部:県ジュニア中南信スケート大会で入賞多数　男子500メートル4年生の部で大会新記録　リンクレコード樹立

平成23年	事務室・職員室床面の改修 児童玄関外西階段改修 理科室換気扇増設 消防設備改修 プール南下駄箱改修 合唱団: NHK全国音楽コンクール南信Aブロック金賞 同長野県大会銀賞 第47回SBCこども音楽コンクール優秀賞 第15回諏訪地区重唱大会銀賞・銅賞 リコーダー合奏団: 第50回全国学校合奏コンクール長野県大会合奏優良賞 重奏最優秀賞 同コンクール東甲信越大会重奏優良賞 東日本優秀演奏会発表会Bブロック最優秀賞 陸上: 諏訪地方ジュニア陸上競技大会5年男子100m 2位 男子ソフトボール投げ 4位 県小学生陸上競技大会出場2名 スケート部: 県ジュニアスケート大会入賞多数クラブ対応スケート大会5年の部 1位 (500m) 大会新 1位 (1000m) 大会新 6/13シドニーギューリック夫妻来校 H24年3/2同夫妻よりティナちゃん人形寄贈
平成24年	インターホン入れ替え設置工事 児童用トイレの洋式化 体育館渡り廊下防風雨処置 校庭の砂入れ替え及びトラック作り(夏休み) 保健室へのエアコン設置 家庭科室ホワイトボード付替 表彰…第48回SBCこども音楽コンクール:合唱団優良賞 リコーダー合奏団重奏:優秀賞 合奏:優秀賞 第79回NHK全国音楽コンクール南信Aブロック 合唱団金賞 第16回諏訪地区重唱大会 合唱団金賞 長野県合奏コンクールリコーダー合奏団 合奏:優秀賞 重奏:優良賞 小学校の部 合奏:最優秀賞 長野県ジュニア東北信スピードスケート競技会 1位 (500m) 1名 (大会新記録) 1位 (1000m) 1名 (大会新記録) 3位 (500m) 1名 男子4000mリレー 第4位 図書館の床・カーテン・壁・扇風機設置 各教室・特別教室等への扇風機設置 北トイレの改修・踊り場の流し撤去・1階から天文台までの壁の塗り替え プール殺菌剤生成装置の撤去 プール新自動塩素提供システム導入 理科室の天井からの電源設置 屋内消火栓配管漏水修理、各教室の内側からの鍵設置工事 表彰…第49回SBCこども音楽コンクール:合唱団:優秀賞 リコーダー合奏団 重奏:優良賞 合奏:優良賞 第80回NHK全国音楽コンクール南信Aブロック:合唱団金賞、県大会:合唱団銅賞 第17回諏訪地区重唱大会:合唱団銀賞・銅賞 長野県合奏コンクール:リコーダー合奏団 合奏:優秀賞、重奏:優良賞 小学校の部 合奏:最優秀賞 長野県ジュニア東北信スピードスケート競技会 女子2000mリレー 第2位 図書館天井の改修 各教室床磨き・フローリング床塗装 トイレの電気・換気扇センサー取付 プールサイド床ゴムチップ敷設 体育館ステージスクリーン電動化改修 屋内消火栓配管漏水箇所の調査及び新配管設置 表彰…第50回SBCこども音楽コンクール:合唱団:優秀賞 第81回NHK全国音楽コンクール南信Aブロック:合唱団金賞 県大会:合唱団銀賞 第18回諏訪地区重唱大会:合唱団銀賞・銅賞 長野県合奏コンクール:リコーダー合奏団 合奏:優良賞 重奏:佳良賞 県ジュニア中南信スケート大会等で優勝・入賞多数
平成25年	プールサイド床ゴムチップ敷設完了 拡大コピー機、各学年プロジェクター6台購入、太陽光発電外灯設置 第82回NHK全国音楽コンクール南信Aブロック:合唱団金賞、県大会:合唱団銀賞 第51回SBCこども音楽コンクール合唱団:優秀賞 リコーダー合奏団:最優秀賞 茅野ジュニアスケート大会女子チームパシュート優勝 教室棟3階廊下壁改修 図書館閲覧用テーブル及び椅子の購入 信濃教育会全県研究大会「外国語活動」公開 第83回NHK全国音楽コンクール南信Aブロック合唱団金賞、県大会:合唱団銀賞 第52回SBCこども音楽コンクール 合唱団:優秀賞 リコーダー合奏団:優秀賞 諏訪地方ジュニア陸上競技大会で2名が入賞し、県大会に出場 クラブ対抗スケート大会で女子リレーが6位に入賞
平成26年	教室棟1階及び2階廊下壁改修 児童玄関ドア入れ替え 校舎南赤松伐採 南信地区学校図書館教育大会会場校 第84回NHK全国音楽コンクール南信Aブロック合唱団金賞 県大会:合唱団銀賞 第53回SBCこども音楽コンクール 合唱団:優秀賞 リコーダー合奏団:優秀賞 長野県学校合奏コンクール小学校の部 リコーダー合奏団:最優秀賞 第39回全日本リコーダーコンテストに出場 諏訪地方ジュニア陸上競技大会で3名が入賞し県大会出場 長野県ジュニア中南信スケート大会で女子リレーが3位に入賞 「夢の教室」にて5年生が、松田丈志さんと秋本真吾さんから授業を受ける
平成27年	教室黒板5教室張り替え 教室前廊下落下防止柵の設置 洋式トイレ暖房便座設置 大型テレビおよびテレビ台3台購入 郡小学校教育課程研究協議会「総合的な学習の時間」会場校 ニュージーランドのブケコへから27名の生徒や保護者が来校し交流 第85回NHK全国音楽コンクール南信Aブロック 合唱団:金賞 第54回SBCこども音楽コンクール 合唱団:優良賞 リコーダー合奏団:(合奏の部) 優良賞(重奏の部) かんてんぱぱ賞

長野県学校合奏コンクール小学校の部 リコーダー合奏団：優秀賞
 「夢の教室」にて5年生が、大島めぐみさんから授業を受ける
 公立諏訪東京理科大学とのプログラミング教育共同研究実施協定締結
令和元年
 体育館天井等改修工事（照明LED化含む）
 電子黒板及び実物投影機各6台購入 電子ピアノ2台受贈 書籍受贈 コントラバスリコーダー購入
 第86回NHK全国音楽コンクール南信Aブロック大会 合唱団：金賞・県大会奨励賞
 第23回諏訪地区重唱大会 合唱団：金賞と銅賞
 第55回SBCこども音楽コンクール リコーダー合奏団：優良賞
 長野県学校合奏コンクール小学校の部 リコーダー合奏団：優秀賞
 諏訪地方ジュニア陸上競技大会 県大会出場4名 5年男子100m 2位（東海大会出場）
 「夢の教室」にて5年生が、千葉真子さんから授業を受ける
 新型コロナウイルス感染防止のため、3/2～3/18まで臨時休業
令和2年
 新型コロナウイルス感染防止のため、4/13～5/29まで臨時休業
 管理棟補修工事（外壁改修工事、屋根塗装工事、FRP防水改修工事）
 GIGAネットスクール通信ネットワーク環境整備工事
 電子黒板、一人一台のタブレット端末配置
 非接触型検温器、加湿器、放送集会で活用する撮影機をPTAより寄贈
 第24回諏訪地区重唱大会に合唱団が録画・講評で参加
 「夢の教室」にて5年生が、加藤ゆかさんからオンラインで授業を受ける
令和3年
 新型コロナウイルス感染防止のため、6/21～22と3/15～16を臨時休業
 中庭遊具改修工事 体育館屋根塗装工事
 加湿器、タブレットタッチペンをPTAより寄贈
 「夢の教室」にて5年生が、藤井瑞希さんからオンラインで授業を受ける
令和4年
 戸田小中一貫校との交流再開
 「夢の教室」にて5年生が、落合真理さん、桧野真奈美さんからオンラインで授業を受ける
 給食室エアコン設置

児童数の移り変わり

(各年4月1日現在)

年度	生徒数
昭和22年	1,035
昭和23年	1,031
昭和24年	995
昭和25年	953
昭和26年	951
昭和27年	914
昭和28年	897
昭和29年	899
昭和30年	880
昭和31年	873
昭和32年	846
昭和33年	848
昭和34年	775
昭和35年	725
昭和36年	677
昭和37年	647
昭和38年	662
昭和39年	660
昭和40年	695
昭和41年	690
昭和42年	691
昭和43年	667
昭和44年	615
昭和45年	613
昭和46年	559
昭和47年	489

年度	生徒数
昭和48年	457
昭和49年	442
昭和50年	425
昭和51年	390
昭和52年	401
昭和53年	407
昭和54年	410
昭和55年	427
昭和56年	439
昭和57年	484
昭和58年	505
昭和59年	524
昭和60年	513
昭和61年	538
昭和62年	521
昭和63年	526
平成元年	519
平成2年	507
平成3年	558
平成4年	526
平成5年	543
平成6年	550
平成7年	540
平成8年	546
平成9年	512
平成10年	527

年度	生徒数
平成11年	514
平成12年	508
平成13年	510
平成14年	489
平成15年	479
平成16年	463
平成17年	455
平成18年	431
平成19年	420
平成20年	420
平成21年	431
平成22年	415
平成23年	403
平成24年	435
平成25年	435
平成26年	430
平成27年	439
平成28年	450
平成29年	447
平成30年	418
令和元年	405
令和2年	410
令和3年	404
令和4年	419
令和5年	412



マラソン記録会



音楽会



戸田小中一貫校との交流



運動会



学校林活動



スケート学習

2 原村学童クラブ

放課後や学校休業日において、就労等により保護者が不在となる家庭の小学校児童を対象に専門の指導員が遊びを通じて指導・育成にあたっています。

平成22年12月小学校敷地内に待望の新学童クラブが完成し、広く、内装の木質化により暖かい環境になりました。

学校登校日（下校～18:30）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録児童数	77	75	70	69	70	68	66	62	60	60	58	58	793
開所日数	15	18	22	17	8	19	19	20	17	17	19	11	202
延べ人数	851	608	1,118	865	112	765	812	754	689	699	830	452	8,555
平均人数	56.7	33.7	50.8	50.8	14.0	40.2	42.7	37.7	40.5	41.1	43.6	41.9	42.35

学校休業日（8:00～18:30）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	全体
登録児童数	103	105	100	98	100	99	97	96	95	93	93	93	1302	1172
開所日数	3	1	0	3	11	1	1	1	3	2	0	10	35	36
延べ人数	112	21	0	171	518	27	26	27	110	48	0	450	1,440	1,510
平均人数	37.3			57.0	47.0	27.0	26.0		36.6	24.0		45.0	41.1	41.1

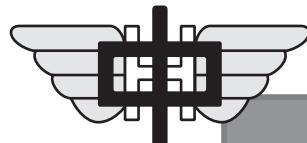
利用実績の推移

年 度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
開所日数	237	245	245	237	246	236	236	236	236	235
延べ人数	5,903	7,251	9,811	11,510	10,111	13,479	12,745	11,918	12,187	11,957
平均人数	24.9	29.6	40.0	48.6	41.1	48.7	54.0	50.5	51.6	50.9
年 度	R1	R2	R3	R4						
開所日数	237	207	232	238						
延べ人数	11,504	9,708	10,946	10,065						
平均人数	48.5	46.9	47.18	42.29						

名 称	所在地・構造・建築面積等	建築年度・建設費
原村学童クラブ	原村6585番地2 原小学校敷地内 鉄骨造り1階建て250.86m ²	2010年12月20日 56,700千円

3 原中学校の教育

(1) 令和5年度 原村立原中学校 グランドデザイン



令和5年度 原村立原中学校 グランドデザイン

地域とともにある原中学校

目指す生徒像

- 自 主・・・自ら考えて判断し、適切な行動ができる原中生徒
- 連 帯・・・仲間や自然、地域や世界の人々と共に生きる原中生徒
- 創 造・・・向上心をもち、粘り強く取り組むことができる原中生徒
- 誠 実・・・さわやかで、誰にでも思いやりの心あふれる原中生徒

本年度の重点目標

- 心をつなぐ 「あいさつ」「思いやりの言動」
- 自分も磨く 「清掃」・「整頓」・「朝読書」
- 充実した学校生活 「トライアル アンド エラー」

スチューデント ファースト

生徒にとって
プラスかを考える

教職員の和

- ・生徒の学びを支える
- ・職場環境の充実
- ・連携・連絡

原村学の充実

原中学校ならではの学習
地域を知る⇒地域で学ぶ
⇒地域と生きる 学習へ

総生研での実践発表

保護者・学校応援団 の皆さんとともに

～幼保小中の連携を
生かした学校教育～

確かな子どもも観

意識する SDGs のゴール

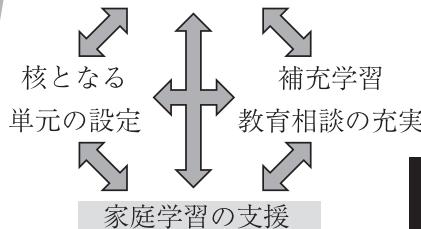


グローバルな視点での評価
よりつながる活動へ

行き届いた学習指導

知識・技能等の修得のみ
を目指すのではなく、自ら
疑問を持ち、分かりたい、
解決したいと思える授業
魅力ある授業を目指して

日常授業の充実



安心して生活できる

環境づくり

- 生徒指導・生徒理解の充実
～多様な個性を尊重した支援～
- ・自己肯定感の育成
- ・強い体と心の育成
- ・共感的、受容的指導
- ・生徒会活動の充実
生徒と創る原中の伝統

原中スタンダードの構築

社会や地域との連携

- ・道徳教育・特別活動・総合的な学習の時間・特別支援教育
(個別の指導計画の吟味や信州型UDの活用)
- ・人権教育
(いじめへの気づき、なくそうとする自治活動)
- ・性教育等におけるつながりの充実
- ・学校の様子の発信
学校だより・HP・生徒によるインスタグラム等

敷居の低い学校

(2) 教育計画

ア 図書資料などを活用して課題を追究し、その成果を伝え合える生徒を育てる国語学習。

図書館やインターネットなどを活用し、意欲的に自らの課題を追究していく学習を重視している。

追究の成果をお互いに伝え合う活動にも重点をおき、学習の相互交流を図っていく。作文学習にも力を注ぎ、各種コンクールなどでも多くの入賞者を出すなど、自己表現力豊かな生徒の育成に努めている。

イ 身近な素材を使い、地域への目を開き、社会参画を促す社会学習

歴史・地理・公民各分野に対する関心を高め、身近な地域素材を発掘し生徒が興味を持って学習に取り組み、具体的な事柄を通して、社会認識を育てるよう努めている。

主体的・対話的な学習をめざして、課題解決的な学習を積極的に取り入れ、図書館やコンピュータ等も利用しながら多面的・多角的な学習ができるように工夫している。

ウ 基礎・基本を大切にして、主体的に追究し、数理の力を伸ばす数学学習

自ら追究する喜びが持てるように、基礎・基本の力を充実させている。身近な題材を取り入れ、生徒が興味をもって学習に真剣に取り組み、数理の力を伸ばしている。

エ 主体的にとり組み、科学的な追究力を育てる理科学習

生徒は自ら操作し、追究し合う理科学習には意欲をもやす。課題を持って、実験・観察をしながら追究していく学習の機会を多くとり、科学的な追究力を育てている。

オ みんなで、豊かで美しいハーモニーをつくりあげる音楽学習

生徒は歌うことが大好きである。互いに励まし合い、支え合いながら美しいハーモニーをつくりあげている。歌声の響く学校をめざしている。

音楽学習の中で基礎を培い、毎日の学習活動の中でも歌声を響かせながら、文化祭の合唱祭等では心が一つになった発表をさせてていきたい。

カ 豊かな感性を育て、創り出す喜びを実感させ、美の探求心を培う美術学習

本校内外の自然、ひと、ものの環境の豊かさは、少なからず生徒が表現と鑑賞の学習をする基盤となっている。

美術科では、環境の豊かさを味わい、見つめ直すと共に、これから社会を担う生徒のものの見方、感じ方を伸ばすことをめざしている。特に卒業に際しては、原村出身の彫刻家である清水多嘉示先生をしのび、昭和55年以来毎年、卒業生の総意を共同制作によるブロンズ像にたくし、彫刻の森（八ヶ岳美術館横）に建立している。

昨年度の作品は「証」であった。

キ 豊かな施設の中で創意工夫し、生活していく力をつける技術・家庭科学習

本校技術科には、金工室・木工室・電気室、家庭科には調理室・家庭科室があり、在籍生徒数に比べ広く充実した特別教室が準備されている。生徒は、それらを十分に活用し、楽しく学び合いながら、実習製作を通して「生活していく力」を伸ばしている。また、パソコンやタブレットについてもインターネットを含め積極的に活用を進めている。

ク 恵まれた施設・環境を生かし、たくましいからだを育てる保健体育学習

一辺100mもある校庭、正規のバスケットボールコートが2面とれる体育館、こうした豊かな環境は、生徒たちのたくましい体をつくりあげるのには、いずれも最高の場所である。こうした中で、生徒たちは、水泳・陸上競技・器械運動や球技・剣道・ダンス等に思う存分力を發揮している。

ケ 生きた英語力を身につける外国語学習と国際交流

国際化時代を迎え、外国語を使える生徒を育てることが強く要請されてきた。しかし、日常生きた外国語に触れることが乏しい環境である。そこで、小中各校にALTを配置し、児童生徒が直接生きた英語に触れる機会を作ってきた。

生徒たちは授業中や給食の時間など、ALTの先生と会話を通じて、生きたことばの教育が着実に進んできたといえよう。

その他、平成9年度から行われている原村の村づくり事業の一環として原中ホームステイ事業により、

平成30年度までに合計236名の生徒がニュージーランドのプケコヘに派遣され、教育交流の推進及び国際理解と協調を深めてきた。また、隔年で、プケコヘインターメディエートスクールの生徒及び保護者、先生方が原村を訪れ、小中学校訪問をしている。直接触れ合い、言葉を交わし、お互いの国の生活、習慣、文化を理解するよい機会となっている。（令和4年はCOVID-19による渡航制限で中止 代替研修実施）

コ 豊かな人権感覚を育む人権教育

「自他を大切にし、違いを愛し日常を幸せに感じられる原中生の育成」を重点の柱一つとして、「さわやかな挨拶とマナー」「豊かな人権感覚」を育む人権教育をめあてに取り組んでいる。6月と11月には人権月間を設け、自己を見つめ、生への慈しみの心を育てる指導や自己を語り、他者を尊ぶ人権感覚の育成を目指している。生徒会やPTAとも連携して、人権感覚の創造を行っている。

サ すべての教育領域と関連させながら実践力を育てる道徳教育

「特別の教科 道徳の時間」だけでなく、教科・特別活動・学校行事・家庭生活などとも結びつけ、自分からよりよい生活をしようという気持ちが持てるよう努めている。友と意見交流することを通して、自らの価値観を問い合わせ直すことに重点を置き、道徳的心情を育していく道徳教育をめざしている。

シ 読書指導

感性を豊かに育むことと知性を研ぎ澄ますことをめざした読書指導を行う。各学年ごとにおすすめ本「はらっこ この本読もうよ」を10冊ずつ選定し、読書の質の向上をはかっている。心のオアシス、学習情報センターとしての図書館の整備を進めている。朝の10分間の一斉読書、年2回の読書旬間など、図書委員会と協力しながら活動を行うとともに、日常の利用指導にも力を入れている。また、地域の読み聞かせボランティアの方々や原村図書館とも連携をはかりながら、読書奨励活動にも力を入れている。

ス キャリア教育「原村学」を柱に据えた総合的な学習の時間

「原村の良さを存分に知り、原村の自然や文化、産業、伝統に囲まれて育ってきた自分を意識し、将来のありようを自信を持って表現できるようになる」を目指す生徒の姿にすえ、ふるさと原村との関わりの中で自分を見つめ、自分の思いを発信する資質と能力を育む学習を年間を通して行っている。

このような学習活動を本校では「原村学」と称し、各学年毎以下の内容を中心に主体的に学んでいる。

1年生は、「原村を知る」というテーマで、原村あるもの探しや実践大実習を通して、地域の特色やその良さに気づける場を設けている。

2年生は、「原村を学ぶ」というテーマで、村内での農業体験や八ヶ岳登山などの体験的な活動を通して、地域に学んで、郷土への愛着や誇りをもてるようにしている。

3年生は、「原村と生きる」というテーマで、修学旅行を通して原村の良さを再認識するとともに、プロンズ像製作と中学生議会を提案や発信の機会としている。

(3) 生徒の行動 地域とふれ合う中で、支え合いながら自主性を育てる生徒会活動

ア みんなで考え行動する生徒会活動

全校生徒によって選ばれた本部役員のもと、規律、清美、健康、放送、広報、図書、企画、福祉、環境の9委員会と代議員会を結成し、年間およそ20回の委員会活動の機会をとって、自主的自発的な自治活動を続けている。

創立以来60余年間、校区も変わらない諏訪地区唯一の中学校ということもあり、その伝統に支えられた自主的実践活動にはめざましいものがある。

イ 進んで地域とふれ合い、愛郷心を育てる生徒活動

村にただ一校の中学校であるわが校は「わが村の中學」として、物心両面から村人のあつい援助と期待がよせられている。各地区生徒会行事として、地区公民館の清掃や周辺の草取り、夏祭りの手伝いなど、地域の一員として地区ボランティアへの参加を継続して行っている。

平成6年よりボランティア活動を行っており、悠生寮、アイリス、さくらのにボランティア参加をしたり、社会福祉協議会が主催するサマーちゃんれんじに主体的に参加したりして施設の方々とのふれあいを大切にしている。こうした中で、知らず知らずのうちに郷土愛を育てている生徒たちである。

ウ 額に汗する喜びを感得し合う生徒活動

わが村は、昔から尊ぶ気風をもっている。それをきちんと受けとめ、さらに強いものに育てようとする活動もいくつか工夫されているのが本校の特色である。

親子で共通の体験を通して学ぶ「PTA 親子作業」などがそれであり、成果をあげている。

エ 自然にとけこみ、体を鍛え合う生徒活動

恵まれた自然の中での、生徒たちが参加するいくつかの体育活動がある。強歩大会（10月）球技（6・3月）のクラスマッチがある。特に、原村内を歩きぬく「強歩大会」は、本校の伝統的行事である。

オ 一人一人の個性を生かす部活動

全校生徒の約90%が参加している部活動は、運動系のものとして野球・サッカー・男女バレー・ボール・バスケットボール・陸上、文化系の部には、科学・美術・吹奏楽があつて活動をしている。また、全校から募集して駅伝部がある。

いずれも、放課後、年間を通して練習を続け、郡内はもとより、南信、県、全国の大会やコンクールでよい成績をあげている。

部活動は、スポーツや文化・科学に親しみながら、学習意欲の向上や責任感・連帯感の涵養、お互いに協力し合って有情を深めるといった好ましい人間関係を育て、中学時代のすばらしい思い出づくりにも大きく貢献している。

カ 長期間かけて創りあげていく文化祭「もみの木祭」での活動

年間を通じて、生徒が最も力を注ぐ活動—それは、10月に行われる生徒会最大行事—文化祭「もみの木祭」である。

学級や教科学習の時間、そして生徒会委員会で、それぞれ工夫し、その年度のテーマに沿って継続して取り組んできた活動の成果を発表する場である。

また、地域のたくさんの方が聴きにきてくださる合唱祭やステージ発表も生徒たちが毎年楽しみにしている。

(4) 原中学校のあゆみ

昭和22年度	学制改革に伴い4月8日原小学校に併設 現村中央公民館所在地に原村立原中学校として発足
	職員16名・生徒数402名 4月学校自治会(生徒会) 8月父母と先生の会(PTA) 発足
	校章(林 栄・田中月雄 原案) 制定
昭和23年度	週5日制授業(10月~昭28)実施 修学旅行(静岡方面)開始
昭和24年度	10月校舎一棟増築 放送施設・ピアノ新調
昭和25年度	中学校新校舎落成 自由研究盛ん
昭和26年度	原中学校文化祭始まる
昭和27年度	原中新聞・生徒会誌創刊
昭和28年度	完全給食開始(凶作)
昭和29年度	校舎増改築落成(一棟増築・宿直室移築・体育館ステージ完成・給食室改築) 校歌(五味保義作詞・伏見三男人作曲)制定披露
昭和30年度	昭和30年度 グランドピアノ購入
昭和31・32年度	バッケネット等校庭周囲の環境整備、就職者に対する指導に力を注ぐ
昭和33年度	玄関・昇降口増改築 校庭スケートリンクに改造 郡中学校スケート大会に大量入賞する
昭和34年度	9月・台風15号で体育館半壊 学校詩集「はんてん」発刊 放送機器一式購入
昭和35年度	女子バレーボール南信大会優勝 作文県コンクールで入賞

昭和36年度	校舎周囲排水溝完成 生徒、胸に名札をつけ始める
昭和37年度	特殊学級(4部)設置 食器消毒機購入
昭和38年度	校旗伝達式 県中学総体スケート競技会 2位 塵埃焼却炉完成 吹奏楽団誕生
昭和39年度	プール竣工 校門(清水潤一氏)・プラスバンド楽器一揃(村文化人会)寄贈
昭和40年度	西校舎手洗い設備完成
昭和41年度	特殊学級で購買開始 写生大会始まる
昭和42年度	通学服制定
昭和43年度	特別教室(1,500万円)落成 玄関前道路舗装
昭和44年度	県中学校スケート大会 5位
昭和45年度	プラスバンド大編成の部でコンクール出場
昭和46年度	特殊教育、印刷作業などを取り入れ充実
昭和47年度	原村字払沢6656番地(現在地)に新築移転を決定 11月起工式 原学校百年記念式典挙行
昭和48年度	6月新校舎鍵入式 1月上棟式 県中学スケート大会8種目中5種目 1位 通学服一部改良 原PTAを解消し中学校PTA発足 50年3月新校舎竣工し移転
昭和50年度	新校舎で授業開始 校舎周辺整備 校歌碑除幕 男子バレー・サッカー南信大会で優勝する
昭和51年度	体育館にグランドピアノ 11月創立30周年記念文化祭
昭和52年度	創立30周年記念事業ブロンズ「のびゆく・清水多嘉示作」建立除幕
昭和53年度	田島薰先生を講師とする授業研究会この年より始まる
昭和54年度	樂焼工芸室竣工 諏訪地区教職員バスケットボール大会優勝
昭和55年度	視聴覚設備(1,400万円)整備 サッカー南信大会で優勝し県大会で優勝 彫刻の森に卒業記念制作ブロンズ像設置 以後毎年設置を継続 強歩大会始まる
昭和56年度	中高連携指定校 生徒会ボランティア活動活発化す
昭和57年度	50mプール(11,578万円)8月竣工 サッカー県大会に優勝 北信越大会出場 女子バスケットボール南信大会優勝 男子バーボル郡大会優勝 阿久遺跡整備開始
昭和58年度	体育館屋根・技術棟床大修理 女子バスケットボール諏訪大会優勝 男子バーボル南信大会 3位
昭和59年度	10月新校舎新築十周年記念式典 記念誌「新校舎十周年ー38年の歩み」発刊 全天候型テニスコート1面新設 校庭100mコース拡張工事 男子バーボル南信大会優勝 女子バスケットボール南信大会準優勝 サッカー諏訪大会優勝
昭和60年度	コンピュータ11台購入 電気陶芸炉設置 女子バスケットボール諏訪大会準優勝。 新1年生よりランドセル型力バンに移行
昭和61年度	男子バーボル諏訪大会優勝 角川感想文コンクール学校賞受賞 生徒数増に伴いコンピュータ室など3教室増築12月竣工 コンピュータ10台購入
昭和62年度	創立40周年事業として歴代校長写真掲額・人文字航空写真撮影
昭和63年度	校内汚水の下水道への全面的接続 パソコン3台補充計24台に 春季サッカー南信大会優勝 中体連新人戦 バスケットボール南信大会出場 全中スケート総合 6位
平成元年度	体育館屋根塗装工事 プール塗装工事 中学校総体陸上北信越大会3000m 6位 中体連諏訪大会男子バーボル 3位 南信大会出場
平成2年度	体育館外部塗装・内部鉄部塗装工事 ブロンズ像「夢」建立 木工工作コンクール優秀賞 県中スケート大会学校対抗男子総合 3位
平成3年度	体育館の床のゆがみ修整工事 学校開放講座 陶芸教室及びワープロ教室を開く 文部省調査統計功績者表彰受賞 男子バドミントン部新設 ブロンズ像「独歩」建立 全中スケート大会3000m 2位
平成4年度	B棟特別教室カーテン取替 給食室床張替 文部省指定研究「勤労生産学習」一年次 吹奏楽コンクール県大会銀賞 県中スケート大会 女子総合優勝 男子総合 4位 ブロンズ像「立志」建立
平成5年度	焼却炉屋根修理 図書館屋根漏修理 家庭科室暗幕取付 諏訪地区PTA指導者研究会会場校 文部省指定「勤労生産学習研究」二年次発表会 ブロンズ像「語らい」建立
平成6年度	国語科を中心にT・T指導始まる 50周年記念事業実行委員会活動開始 ブロンズ像「まなざし」建立 租税教室教育推進により感謝状受賞 バドミントン県大会団体戦 3位 中体連陸上競技南信大会 3年男子100m 2年女子100m 3位 他多数入賞
平成7年度	技術家庭科授業「マネーアローン」「ゴミリス」などコンピュータにてT・T授業が盛んに行われる 50周年記念事業実行委員会発足 ブロンズ像「陽光」建立
平成8年度	創立50周年を記念して、記念式典 記念事業(パソコン入替 体育館緞帳新調) 記念誌発刊などを行う 給食室0-157対策工事多種 南信図書館大会開催 県中スケート大会男子総合優勝 ブロンズ像「無限」建立
平成9年度	全中スケート 男子総合優勝 男子1000m 1位 同5000m 3位 県知事表彰 県教育委員会表彰 県中駅伝女子 5位 バドミントン 県大会団体 3位 ダブルス 3位 少年の親の主張県優良賞 第45回統計グラフコンクール佳作 体育館屋根改修 給食室改修 調理室改修 視聴覚室改修 ブロンズ像「晴れた日」建立 原村人づくり事業 中学生海外ホームステイがスタート ニュージーランド フランクリン地区のブケコ への国際交流開始
平成10年度	ブロンズ像「道」建立

	県中駅伝 女子 4位 全中スケート大会 男子総合 4位
平成11年度	県中駅伝 女子 8位 男子 19位 バドミントン部県中総体 2位 北信越大会出場 吹奏楽部県大会銀賞 衆議院文教委員会現地調査本校視察 ブロンズ像「夢～可能性」建立
平成12年度	A・B棟大屋根塗装 体育館床補修 塗装 ゴミステーション建設 1年1部教室床張替 日韓 Jリースピードスケート大会出場 女子500m 3位 女子3000m 3位 吹奏楽部県大会銀賞 ブロンズ像「成長」建立
平成13年度	コンピュータ室エアコン設置 防犯灯設置 1年3部・2年1部教室床張替 県中駅伝大会 男子 10位 女子 13位 県中スケート大会 男子総合 6位 女子総合 6位 全中スケート 男子3000m 8位 ブロンズ像「忘れている」建立
平成14年度	ブケコヘインター・メディエイトスクールとの教育交流調印式(9月20日 役場にて) ブケコヘインター・メディエイトスクール来校(9月24・25日 生徒14名 引率者4名) ホームソーアイング振興最優秀賞受賞(文部科学大臣賞) 県中スケート大会 女子総合 1位(10年ぶり2度目) 全中スケート大会 女子総合 2位 女子1500m 2位 県中駅伝大会 男子 16位 女子 21位 コンピュータ室コンピュータ機器入れ替え テレビ電話設置 体育館玄関屋根・天井改修 図書館司書室間仕切り改修 1年3部・2年3部教室床張替 ブロンズ像「今」建立
平成15年度	県中スケート大会 女子総合 1位(2年連続3度目) 全中スケート大会 女子総合 2位 女子1500m 2位 女子3000m 2位 県中駅伝大会 男子 16位 女子 21位 美術室廊下壁掲示板設置 給食室回転釜給湯設備設置 A・B棟雨樋笠木補修 ブロンズ像「生きる」建立
平成16年度	校舎耐震補強工事開始(3年1部教室 理科室 理科室廊下 美術室後方壁) 教室等入口ドアガラスを透明なものに改修 県中スケート大会 女子総合 1位(3年連続4度目の優勝) 全中スケート大会 女子総合 4位 吹奏楽県大会 A編成で銅賞 管楽器個人重奏コンテスト本大会に県代表として出場 数学検定グランプリ金賞を受賞 県児童生徒本工作コンクール最優秀賞・理事長賞受賞 ブロンズ像「ありがとう」建立
平成17年度	諏訪地区PTA指導者研修会会場校 県中スケート大会 女子総合優勝(4年連続5度目) 全中スケート大会 女子総合 7位 B棟外壁補修塗装工事 理科室廊下照明増設 給食室回転釜取り替え設置 教室・特別教室の一部床張り替え ブケコヘームスティ 10名 ブロンズ像「絆」建立 ホームソーアイングコンテスト全国最優秀賞
平成18年度	ジュニア陸上2年連続総合優勝 県中スケート女子1000m 1位 男子1000m 2位 ブケコヘームスティ 10名 A棟南側クラック補修校庭器具庫屋根張り替え ポイラー室アスベスト除去 水道配管漏水補修 職員室照明改善 ブロンズ像「キックオフ」建立 田中知子様より絵画「陽光」寄贈
平成19年度	ジュニア陸上3年連続総合優勝 北信越陸上大会男子1500m 3位 県大会陸上男子1500m 1位 走り幅とび 1位 ブケコヘームスティ 10名 ブロンズ像「空」建立 北校舎3階トイレ全面改修
平成20年度	生涯学習フォーラム、教育課程研究協議会(理科)開催 体育館耐震補強工事 北校舎2階トイレ全面改修 ブケコヘームスティ 10名 吹奏楽部県大会出場 ブロンズ像「心」建立 卒業記念品として津金孝邦先生「自燈明」寄贈
平成21年度	英語教育研究会(NET)開催 台風接近による臨時休校(10月)インフルエンザ流行による休校(11月) 中学校総体陸上県大会1500m 1位 北信越大会1500m 1位、全国大会800m 8位 ブケコヘームスティ 9名 ブロンズ像「追求」建立 給食棟耐震補強工事内部改修工事 北校舎1階トイレ 南校舎2階トイレ全面改修 コンピュータ室パソコン入替

平成22年度	中学校教育課程研究協議会〈技術・家庭科〉開催 ブケコヘーモースティ 10名 ブロンズ像「輝き」建立 県中スケート大会 500m女子 7位 全国大会出場 太陽光発電設備設置工事 教室棟・管理棟FF暖房設備設置工事 上水道改修工事 職員トイレ全面改修 施設(生徒昇降口ゲタ箱 教室ロッカー 天井等)改修工事
平成23年度	中学校教育課程研究協議会〈数学科〉開催 ブケコヘーモースティ 10名 ブロンズ像「一秒」建立 技術棟FF暖房設備設置工事 図書館内全面改修工事、校庭トイレ・倉庫全面新築工事 県児童・生徒木工工作コンクール県知事賞受賞
平成24年度	中学校教育課程研究協議会〈美術科〉開催 ブケコヘーモースティ 9名 ブロンズ像「奇跡」建立 北校舎大規模改修工事(普通教室 3階廊下全面改修) 県児童・生徒木工工作コンクール県知事賞受賞
平成25年度	ブケコヘーモースティ 9名 ブロンズ像「薔」建立 北校舎大規模改修工事(北校舎 特別教室 1、2階廊下全面改修) 県児童・生徒木工工作コンクール県知事賞受賞 県中スケート大会 男子1000m 2位 男子1500m 3位 全国大会出場 国土緑化運動・育樹運動ポスター県知事賞受賞 同ポスター全国出品 準特選(林野長官賞)受賞
平成26年度	ブケコヘーモースティ 10名 ブロンズ像「個性」建立 南校舎サッシ取替え 全二重サッシへ 事務室・家庭科室改築 壁吹き付け工事 中学校教育課程研究協議会〈国語科〉開催 第37回長野県児童・生徒木工工作コンクール県知事賞(第39回全国児童・生徒木工工作コンクールに長野県代表として出品) 平成26年度全国中学校体育大会 第35回全国中学校スケート大会男子500m 8位入賞
平成27年度	ブケコヘーモースティ 9名 ブロンズ像「物語」建立 管理校舎 技術棟 全面内装改修 学校プール危険箇所漏水箇所改修 管理棟屋上雨樋 受水槽凍結防止帯交換 体育館床危険箇所改修 体育館放送機器取替え 給食保管庫取替え 中学校教育課程研究協議会〈道徳〉開催 全国児童生徒木工工作コンクール 林野庁長官賞 県中陸上大会800m男子 1位 棒高跳男子 2位 5位 女子 3位 全国大会出場男子800m 第36回全国中学校スケート競技会男子500m 3位 男子1000m 3位
平成28年度	ブケコヘーモースティ 10名 ブロンズ像「運命」建立 教室等ワックス全面塗装 学校プール危険箇所・漏水箇所改修 校庭土の入れ替え 体育館バレーコート新設、床危険箇所改修、管理棟倉庫改修 給食室サッシ入れ替え 中学校教育課程研究協議会〈音楽〉開催 信教全県大会〈道徳〉開催 全国児童生徒木工工作コンクール 林野庁長官賞 県中陸上大会棒高跳び 男子 1位 3位 女子 1位 2位 全国大会男子 8位
平成29年度	ブケコヘーモースティ 10名 ブロンズ像「時」建立 管理棟床面ワックス全面塗装 学習室1床のフローリング張り替え 生徒玄関傘立て改修工事 教室棟網戸設置 中学校教育課程研究協議会〈社会科〉開催 南信学校図書館大会〈理科〉開催 県中陸上大会 棒高跳び 男子 6位 女子 1位(県中学タイ) 2位 3位 砲丸投げ 5位 全国中学校スケート大会 女子3000m 5位
平成30年度	ブケコヘーモースティ 10名 ブロンズ像「扇」建立 教室棟2階教室網戸設置 県中陸上大会 男子棒高跳 男子 1位 7位 女子 1位 6位 北信越大会 男子棒高跳 男子 2位、全国大会出場 長野県中学校スケート大会 女子総合 1位 全国中学校スケート大会 女子1500m 6位 9位 3000m 3位 6位 女子総合 4位 長野県児童生徒木工作品コンクール最優秀賞(長野県知事賞)
令和元年度	新型コロナウイルス感染防止のため、3月2日～3月18日まで臨時休業 ブケコヘーモースティ事業中止 ブロンズ像「証」建立 県中陸上大会 棒高跳 男子 1位 7位 女子 7位 北信越大会 棒高跳 男子 3位 全国大会 棒高跳 男子 9位 長野県中学校スケート大会 女子1500m 8位 女子3000m 5位 全国中学校スケート大会 女子3000m 8位 ロボットセミナー全国大会 デザインの部 優勝 中学生の部競技会 準優勝 駐車場造成工事 学校プール使用停止・小学校プールを共用する
令和2年度	新型コロナウイルス感染防止のため4月13日～5月6日まで臨時休業 5月7日～31日まで分散登校 ブケコヘーモースティ事業中止 ブロンズ像「月」建立 〔陸上競技〕第66回全日本中学生通信陸上競技大会長野県大会(リモート)

男子棒高跳 1位 3位 4位 共通1500m 4位 〔駅伝部〕県中学駅伝大会南信予選会 女子 3位
 長野県児童・生徒木工作コンクール 県知事賞
令和3年度 新型コロナウイルス感染防止のため1月学校閉鎖(4日)2学年学年閉鎖(2日)タブレット全生徒配付 欠席生徒とリモートでつながる授業を展開
 プケコヘホームステイ事業中止 代替事業としてのプケコヘ研修会に5名の生徒とALTが指導者として参加
 中学校教育課程研究協議会〈特別支援教育〉開催 ブロンズ像「アンルール」建立 南側駐車場街灯寄贈
 〔陸上競技〕北信越総合競技大会・陸上競技大会 共通男子棒高跳 2位
 全日本中学生通信陸上競技大会長野県大会 共通女子ジャベリックスロー 1位 共通男子棒高跳 1位
 令和3年度長野県児童・生徒木工作コンクール 県知事賞
令和4年度 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、プケコヘホームステイ事業中止 代替事業のオンライン交流会に5名の生徒とALTが指導者として参加 上智大学 奈須正裕教授を招聘し原村教育研究会を7月4日実施 強歩大会をコース10kmに縮小し10月5日に実施 ブロンズ像「夜明け」建立 原村学等での使用目的で映像編集制作用パソコン5台、デジタルカメラ4台 三脚4基 ビデオカメラ1台 原村より支給
 〔陸上競技〕北信越総合競技大会・陸上競技大会 共通棒高跳2位 100m予選出場
 〔スピードスケート〕第43回全国中学校スケート大会 3000m女子 5位
 〔フィギュアスケート〕第43回全国中学校スケート大会 フィギュアスケート競技 ショート28位
 令和4年度長野県児童・生徒木工作コンクール 県知事賞

生徒数の変遷

(各年4月1日現在)

年度	生徒数
昭和22年	402
昭和23年	516
昭和24年	554
昭和25年	542
昭和26年	503
昭和27年	488
昭和28年	454
昭和29年	494
昭和30年	504
昭和31年	481
昭和32年	447
昭和33年	396
昭和34年	420
昭和35年	434
昭和36年	444
昭和37年	421
昭和38年	387
昭和39年	372
昭和40年	322
昭和41年	328
昭和42年	322
昭和43年	333
昭和44年	331
昭和45年	337
昭和46年	353
昭和47年	353

年度	生徒数
昭和48年	353
昭和49年	309
昭和50年	267
昭和51年	257
昭和52年	255
昭和53年	240
昭和54年	217
昭和55年	214
昭和56年	222
昭和57年	207
昭和58年	216
昭和59年	211
昭和60年	230
昭和61年	233
昭和62年	263
昭和63年	277
平成元年	286
平成2年	281
平成3年	260
平成4年	278
平成5年	267
平成6年	289
平成7年	273
平成8年	268
平成9年	292
平成10年	283

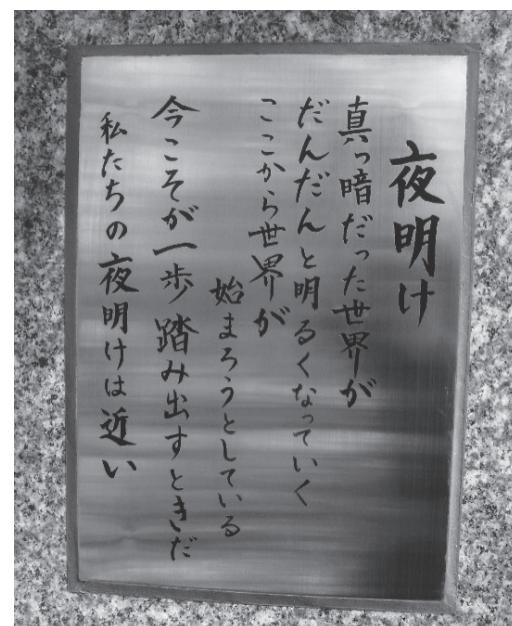
年度	生徒数
平成11年	293
平成12年	270
平成13年	268
平成14年	267
平成15年	259
平成16年	268
平成17年	254
平成18年	253
平成19年	233
平成20年	220
平成21年	206
平成22年	204
平成23年	214
平成24年	216
平成25年	205
平成26年	192
平成27年	199
平成28年	200
平成29年	193
平成30年	227
令和元年	247
令和2年	245
令和3年	222
令和4年	207

(5) 原中学校ブロンズ

令和4年度 卒業生作品 「夜明け」



テーマ「夜明け」考案：渡邊 奏 原型制作：上島 美空



詩：篠原 由姫恵 題字：上島 美空

4 教職員数・学級数

令和5年5月1日現在

区分 学校名	県 費										村 費						合 計 学 級 数		
	校 長 教 頭	教諭		講 師		養 護 教 諭 職 員	事 務 等	計		講 師 等	榮 養 士	司 書	用 務 員	事 務	計				
		男	女	男	女			男	女						男	女			
小学校	1	1	8	10	2	3	1	2	2	11	19	男0 女5	0	1	2	1	2	7	39 14(2)
中学校	1	1	10	5	1	1	1	0	1	14	7	男2 女3	1	1	2	1	4	6	31 9(2)

※学級数()内は特別学級で内数

※村費 事務は小中兼務

5 学校施設

所 在

原小学校	原村6585番地	緯度	35.963171	経度	138.217804
原中学校	原村6656番地	緯度	35.962635	経度	138.214234

校 地

学校名	校 地	校 地 総 面 積	内 訳	
			建物 敷地	屋外運動場
原 小 学 校		28,250	14,856	13,394
原 中 学 校		24,933	10,807	14,130

校 舎

建物 区分 学校名	保 有 建 物 面 積					
	一 般 校 舎				屋 内 運 动 场	
	鉄 筋 コンクリート(R)	鉄 骨 その他(S)	木造(W)	計	鉄 骨 その他(S)	計
原小学校	4,276	84	96	4,456	1,591	1,591
原中学校	4,285	70		4,355	1,743	1,743

学校プール

項目 学校名	建設 年度	規 模				専用施設			低学年プール		
		長さ	幅	深さ	コース	浄化装置	更衣室	便所	長さ	幅	深さ
原小学校	H15	25	17	最深1.2 最浅1.0	8	三進式	○	○	18	12	最深0.65 最浅0.6

6 教職員住宅

建設 年度	所 在 地	住 宅 NO	規 模					
			構 造		間 数		面 積 m ²	
S59	原村 11899-3	1～4	1棟4戸鉄骨2階			3DK	60.8 (243.2)	
S58	原村 12090-2	5～8	〃			〃	52.2 (208.8)	
S56	原村 12090-1	13～15	1棟3戸コンクリートブロック2階			〃	61.95 (185.7)	
S63	原村 12091-1	19～24	1棟6戸鉄骨2階			2DK	43.2 (259.2)	
S26	原村 3857-2	25	1棟1戸木造			2K	46.4	
合 計			22 戸					

※No.5～8 及び 13～15 は令和4年度、こども・子育て支援センター建設のため撤去

7 令和5年度学校医・学校歯科医および薬剤師

学校名	内外科担当 医師名	眼科担当 医師名	耳鼻科担当 医師名	歯科担当 医師名	担当 薬剤師名
原小学校	片岡 祐 遠藤 誠子	横井 秀俊	三田 温	小松 祐介 山田 順誠	藤森 憲司
原中学校	片岡 祐	横井 秀俊	三田 温	正木 岳馬	藤森 憲司

8 学校給食実施状況

学校名	給食人数	一食当り給食費	年間給食日数	備考
原小学校	418	290 円	200	各週・ 米飯3回、パン1回、麺1回
原中学校	208	340 円	197	各週・ 米飯3回、パン1.5回、麺隔週1回

※ 給食人数は児童・生徒の合計

小学校は平成19年4月から、中学校は平成13年4月から給食業務を外部委託

9 補助事業

事業名	対象	事業内容	R4補助実績額
幼稚園運営補助金	私立幼稚園の設置者	村内の幼稚園の運営費の一部を補助	¥450,000
特別支援教育 就学奨励費	特別支援学級に就学する児童及び生徒の保護者等	学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費等、修学旅行費、学校給食費	¥276,675
要保護及び準要保護児童生徒援助費	経済的理由によって就学困難と認められる児童及び生徒の保護者	学用品費、通学用品費、校外活動費、クラブ活動費、新入学児童生徒学用品費等、修学旅行費、PTA会費、学校給食費	¥7,523,480
小中学校通学費 補助金	原小中学校に通学する遠距離の児童及び生徒の保護者	児童片道4キロ、生徒片道5.5キロ以遠で公共交通または自家用車等を利用して通学する児童及び生徒の保護者に要綱で定められた額を補助 ※原山方面については通学臨時便を利用(保護者負担なし)	¥417,150
教育振興事業補助金	児童及び生徒の学習活動に要する経費	体験学習・講座への参加(芸術鑑賞等)部活動などの大会への参加	¥236,642
奨学金	経済的理由によって高等学校及び高等専門学校の修学が困難なもの	月1万円を上限に支給	3名 ¥360,000